

国際的な不具合データベースについて（報告）

平成 9 年 11 月 12 日

宇宙開発事業団

1. 報告事項

国際的な不具合データベースの現状について報告する。

2. 国際的な不具合データベースの現状

各国の機関で独自に不具合関連データをまとめているようであるが、国際協力でデータベースが構築されてはいないのが現状である。また、商業・軍事衛星関連の不具合は、公開されることが殆どなく、設計等に参考となる情報を得ることは難しい状況にある。

事業団では、NASA等との情報の共有化を検討しているが、メーカーの技術情報の公開につながることから、共有できる情報が限定され、また開示範囲も限られてしまう。

3. 宇宙開発事業団における不具合データベースの現状と今後の方針

事業団独自には、以下のように不具合データをまとめている。

- 1) 事業団のロケット・衛星の開発・運用段階、及び地上設備装置で発生した不具合については、不具合データベースを構築し、社内向けホームページに掲示している。
- 2) 他の機関の不具合については、雑誌・文献、及び公開されている情報などを参考に調査を行い、「世界のロケット・人工衛星の不具合調査」として本の形でまとめており、また、社内向けホームページへの掲示も検討している。

これらの情報が有効に開発に活用されるよう、使い易いシステムを構築していく予定である。

以上